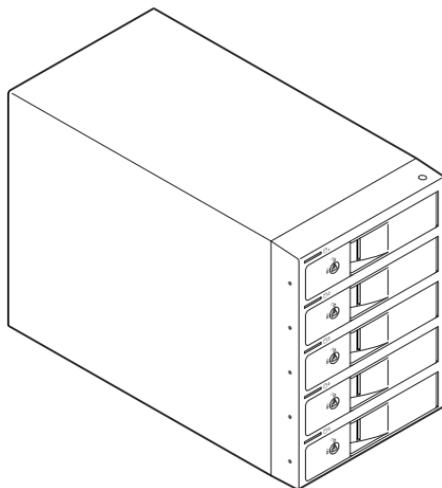


裸族のインテリジェントビル5bay USB3.0+eSATAコンボ Ver.2

CRIB535EU3V2
取扱説明書



CENTURY

もくじ

ごあいさつ	4
はじめに	5
■安全上のご注意	5
■制限事項	10
■ご使用前に	11
製品仕様	12
製品内容	13
各部の名称	14
対応情報	16
■対応HDD	16
■対応OS	16
• Windows	16
• Mac	16
■対応機種	17
• USB接続時	17
• eSATA接続時	17
使用上のお願い	18
HDDの組み込み方法	19
■HDDを接続する前に	19
■組み込みの前に	19
■取り付け方	20
• 取り出す場合は？	25
PCとの接続方法	26
電源オン・オフ方法	28

ステータスLEDについて	29
--------------	----

RAIDモードの設定方法	30
--------------	----

RAIDモードの説明	34
------------	----

■RAID構築時のHDDの容量について	34
■RAID 5(パリティつきストライプモード)	35
■RAID 3(パリティつきストライプモード)	36
■RAID 1(ミラーリングモード)	37
■RAID 10(ミラードストライピングモード)	38

RAIDではない他のモードの説明	39
------------------	----

■RAID 0(ストライピングモード)	39
■Combine(コンバインモード)	40
■Clear RAID(個別認識モード)	41

ディスクの故障とリビルド	42
--------------	----

■ディスクの故障	42
■リビルド方法	43

ハードウェアの取り外しについて	44
-----------------	----

トラブルシューティング	46
-------------	----

FAQ(よくあるご質問とその回答)	52
-------------------	----

RAID Managerについて	54
------------------	----

巻末付録	巻末付録1
------	-------

●領域の確保とフォーマット	巻末付録2
■Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vistaの場合	巻末付録2
●Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)	巻末付録10
●Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法	巻末付録14
●サポートのご案内	巻末付録20

ごあいさつ

このたびは

「裸族のインテリジェントビル5bay USB3.0+eSATAコンボ Ver.2 (CRIB535EU3V2)」

をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使いください。

また、お読みになったあとも大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

はじめに

安全上のご注意 （必ず守っていただくようお願いいたします）

- ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
 - この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

 警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
 注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

 注意指示事項	 禁止(禁止行為)
 分解禁止	 濡れた手での接触禁止
 水濡れ禁止	 電源プラグを抜く
 接触禁止	 ケガに注意

安全上のご注意 (必ず守っていただくようお願いいたします)

警告



煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない

煙が出る、異臭がする、異音がするときは、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をしないでください。

内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。

点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



機器の内部に異物や水を入れない

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。



電源の指定許容範囲を超えて使わない

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。

定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

警告



電源コード、接続コードに関する注意事項

以下の注意点を守ってご使用ください。

被膜が損傷したり、故障を招くだけでなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
- コードの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステープル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。



雷が鳴り出したら機器に触れない

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。



ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。



体に異変が出たら使用しない

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。

機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

注意



設置場所に関する注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙が付きやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

注意



長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。



機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。



小さいお子様を近づけない

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。



小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。



静電気にご注意ください

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

はじめに

制限事項

- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品はSATA HDD専用です。パラレルATA(IDE)HDDは使用できません。

ご使用の前に

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。



注意

静電気や水分は機器を破壊する原因となりますので、SATA HDDの取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。

製品仕様

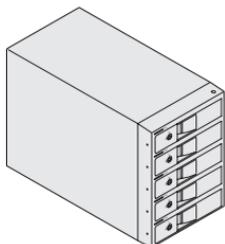
- 商 品 名：裸族のインテリジェントビル5Bay
USB3.0+eSATAコンボ Ver.2
- 型 番：CRIB535EU3V2
- インターフェイス
 - デバイス側：SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps
 - ホスト側：【USB】USB3.0 【eSATA】SATA II 3.0Gbps
- 冷却ファン仕様：6cm角 x2 2,500rpm±15% ノイズレベル13.8dB^{*}
※冷却ファン単体での計測値
- 寸 法：幅130mm×高さ185mm×奥行260mm
(突起部含まず)
- 重 量：約3,300g (HDD含まず)
- 温 度 ・ 湿 度：温度 5℃～35℃、湿度 20%～80%
(結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること)
- 電 源 仕 様：【入力】AC100V-240V 【出力】200W

製品内容

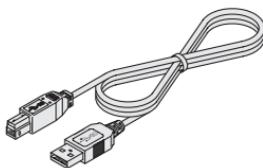
- CRIB535EU3V2 本体
- 専用USB3.0ケーブル
- 専用eSATAケーブル

- 専用ACケーブル
- ドアロックキー
- 取扱説明書/保証書(本書)

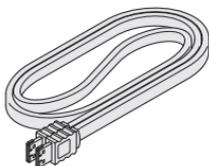
- CRIB535EU3V2 本体



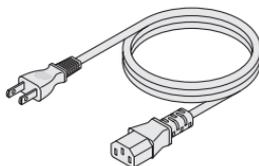
- 専用USB3.0ケーブル



- 専用eSATAケーブル



- 専用ACケーブル



- ドアロックキー

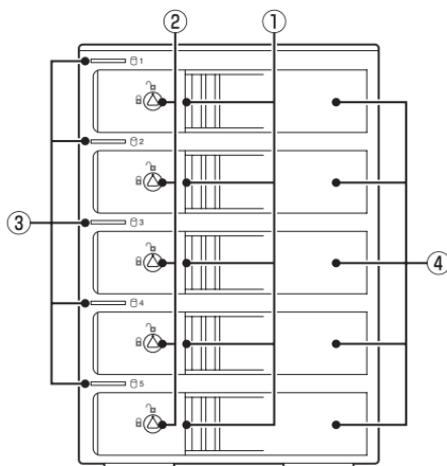


- 取扱説明書/保証書



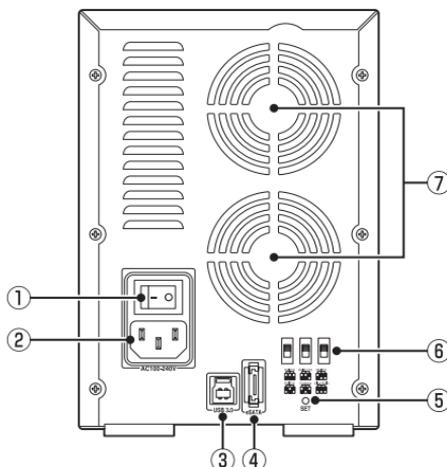
各部の名称

■前面



- ① 取出し用ラッチ
- ② ドアロック
- ③ ステータスLED
- ④ フロントドア

■背面



- ① 電源スイッチ
- ② ACコネクタ
- ③ USB3.0コネクタ
- ④ eSATAコネクタ
- ⑤ RAID SETボタン
- ⑥ RAID設定スイッチ
- ⑦ 6cm冷却ファン

対応情報

対応HDD

■3.5インチSATA HDD (SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※本製品はSATA HDD専用です。PATA(IDE)HDDは接続できません。

※RAIDを構築する場合は、同じ仕様のものでそろえてください。

※本製品は6GbpsのHDDに対応していますが、製品の内部処理はSATA II(3.0Gbps)で行われているため、最大転送速度はSATA 3.0Gbpsの上限速度となります。

※出し入れの際、HDDに微細な傷がつく場合があります。

あらかじめご了承のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。

※8TBまでのHDDで動作確認を行っております(2015年12月現在)。

対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

※eSATA接続の場合、ご使用のeSATAホストインターフェイス側に容量制限がある場合があります。

組み込んだHDD、またはRAIDボリュームの容量が対応しているかをご確認ください。

対応OS

■Windows

- Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista

※Windows RT、Starter Edition、Embeddedは動作対象外となります。

※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。

最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

■Mac

- Mac OS 10.11.1/10.10.5/10.9.5/10.8.5/10.7.5

対応機種

USB接続時

■Windows

- USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機(USB3.0モード動作時)
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機(USB2.0モード動作時)
- CPUクロック2GHz/メインメモリ2GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

動作確認済みUSB3.0ホストコントローラ

- Intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- Intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ
- Frescollogic FL1100 USB3.0ホストコントローラ
- Asmedia Asm 1042 USB3.0ホストコントローラ
- RENESAS(NEC) μ PD72020x USB3.0ホストコントローラ
- VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ

※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

■Mac

- USB3.0インターフェイスポートを標準搭載したintel Mac
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したintel Mac

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※USB3.0での動作は、USB3.0インターフェイスが標準搭載されているモデルのみで動作を保証します。

USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

eSATA接続時

■Windows

- eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機

■Mac

- eSATAインターフェイスを備えたMac

使用上のお願い

SATA HDDの取り扱いについて

- SATA HDDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されております。
この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。
- 本製品の構造上、HDDにすり傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品からのOS起動に関して

本製品はUSB接続時のOS起動には対応していません。

eSATA接続時の起動に関しては、eSATAホストインターフェイスの取扱説明書をご確認ください。

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDを手軽に使用することを想定して作られています。

しかし、内蔵用HDDは本来とてもデリケートな精密機器です。

特に静電気はHDDの大敵なので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDDを保管するときは高温多湿、ホコリの多い場所を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

デリケートな
裸族を
守るのう!



HDDの組み込み方法

HDDを接続する前に



警告

HDDを接続するまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

組み込みの前に



注意

- フレームやHDDコネクタ、基板で手を切らないようにご注意ください。
- すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。
また、本製品はHDDのホットスワップには対応しておりませんので、電源を入れたままのHDDの抜き差しは行わないでください。
- HDDの取り付け、取り外しを行う際にHDDに傷が付く場合があります。
HDDに傷が付いたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDDメーカーの保証が受けられなくなる場合があります。
HDDの出し入れはゆっくりと静かに行き、必要以上に傷が付かないように慎重にお取扱ってください。

HDDの組み込み方法

取り付け方

※本製品はシリアルATA(SATA)HDD専用です。パラレルATA(PATA)は接続できません。

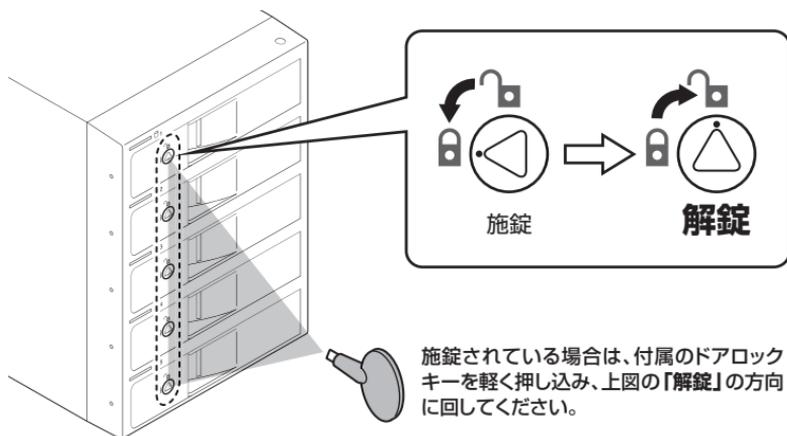


SATAコネクタ



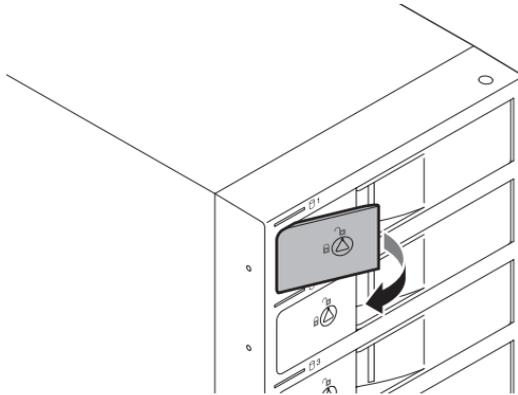
PATAコネクタ

1. フロントドアのドアロックが解錠状態(◁マーク)にあることを確認します。



HDDやドア等、各金具の端で手を切らないようにご注意ください。

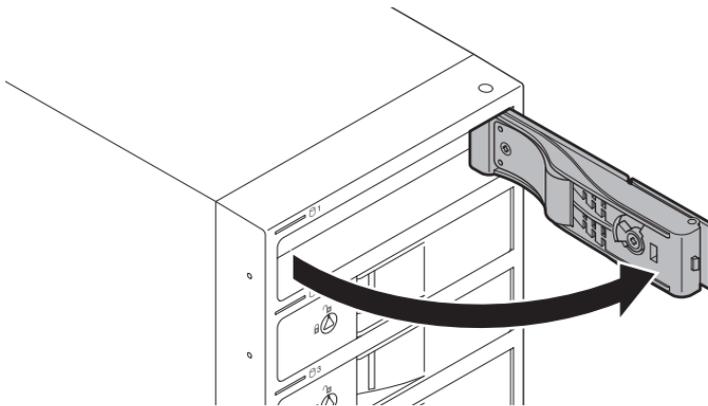
2. フロントドアの取出し用ラッチを手前に引きます。



⚠ 注意

◎必要以上に力をかけすぎると、故障や破損の原因となりますのでご注意ください。

3. フロントドアを開けます。



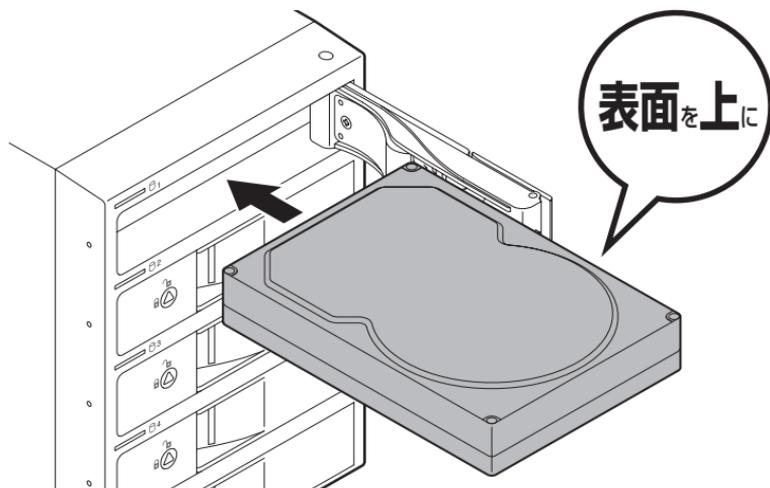
注意

本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

HDDの組み込み方法

取り付け方

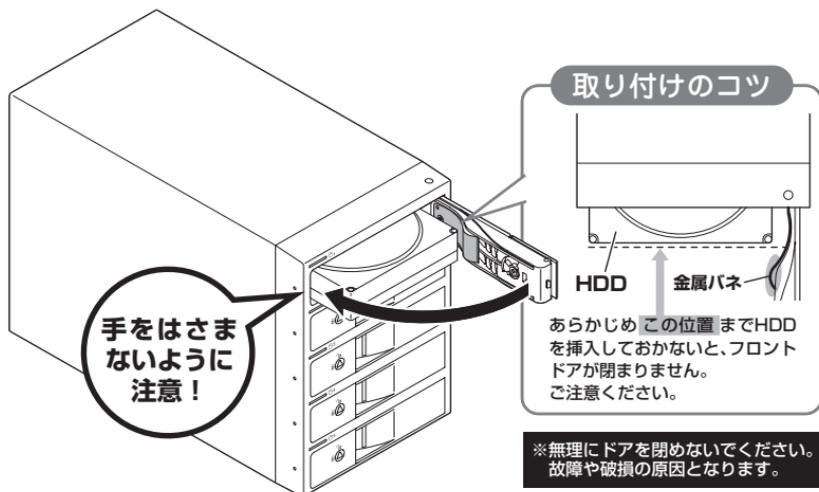
4. HDDの表面を上にして筐体にゆっくと入れ、軽く当たったところで止めます。



注意

- 本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。
- HDDの取り付け、取り外しを行う際にHDDに傷が付く場合があります。HDDに傷が付いたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDDメーカーの保証が受けられなくなる場合があります。HDDの出し入れはゆっくと静かにいき、必要以上に傷が付かないように慎重にお取扱いください。

5. HDDがフロントドア内側の金属バネより奥に差し込まれていることを確認したら、フロントドアを閉めます。



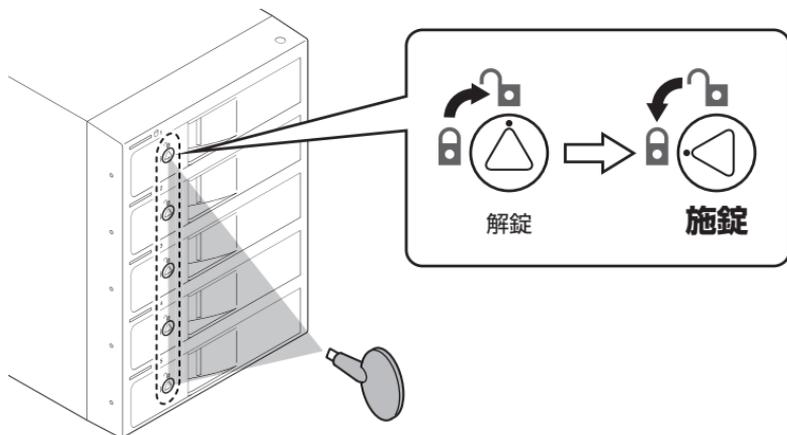
注意

- 本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。
- HDDの取り付け、取り外しを行う際にHDDに傷が付く場合があります。HDDに傷が付いたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDDメーカーの保証が受けられなくなる場合があります。HDDの出し入れはゆっくりと静かに行い、必要以上に傷が付かないように慎重にお取扱ください。

HDDの組み込み方法

取り付け方

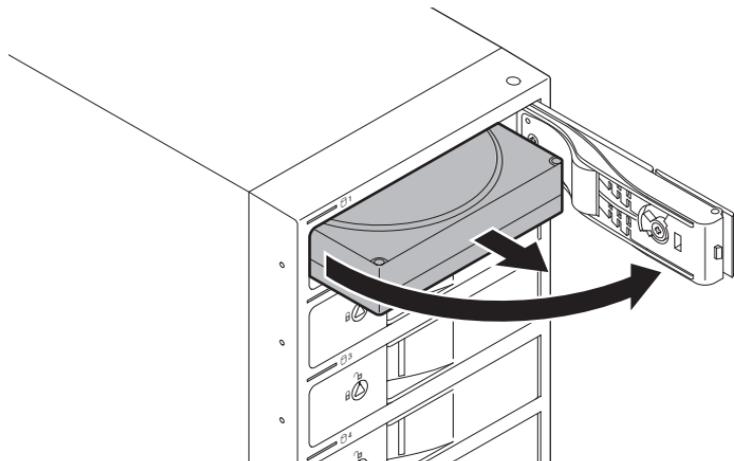
6. 下段もそれぞれ同じようにセットして完成です。
安全のため、長時間で使用になる場合にはドアロックを施錠してご使用ください。



●取り出す場合は？

取り付けたときと同じようにフロントドアを開けると、中のHDDがコネクタから外れて前へ押し出されます。

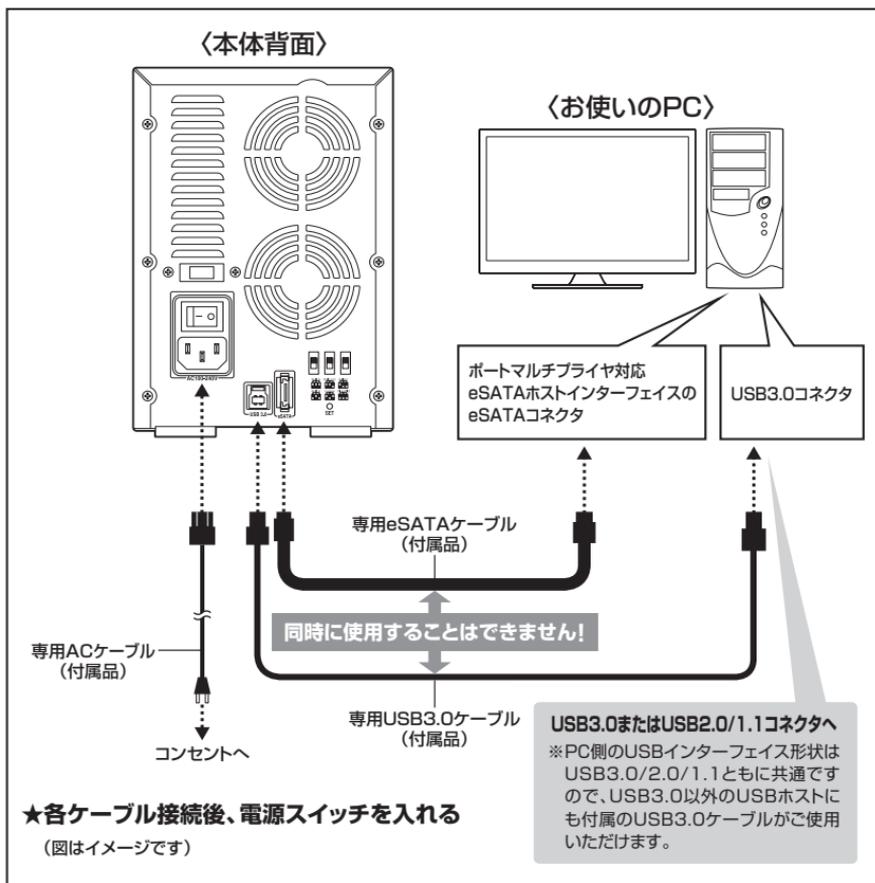
そのままHDDを手で引き出してください。



注意

本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

PCとの接続方法



注意

- 接続は必ずメイン電源スイッチが「オフ」の状態で行ってください。メイン電源がオンの状態で接続を行うと、HDDが破損するおそれがあります。
- 図はイメージです。また、eSATAケーブルはきつく曲げないようにしてご使用ください。
- eSATA接続+Clear RAID設定でHDDをそれぞれ独立して認識させる場合は、eSATAホストがポートマルチプライヤーに対応している必要があります。

●eSATAポートマルチプライヤーとは…

eSATAポートマルチプライヤーは、SATA規格のひとつです。

従来SATAはホストとデバイスを1対1でつなぐことしかできませんでしたが、ポートマルチプライヤー機能を使用すると、1本のeSATAケーブルで理論上15台までのeSATA機器を認識させることができます。

※ポートマルチプライヤーに対応していないホストインターフェイスに本製品を接続した場合、HDDは1台しか認識されませんのでご注意ください。

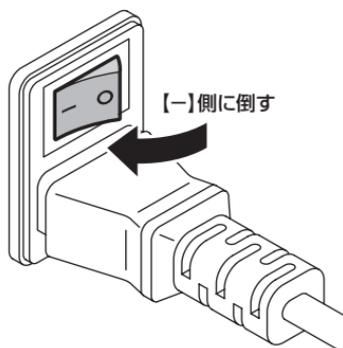
※eSATAホストインターフェイスによって、認識できるデバイス数の上限が異なる場合があります。

詳しくは、ご使用のeSATAインターフェイスのメーカーにご確認ください。

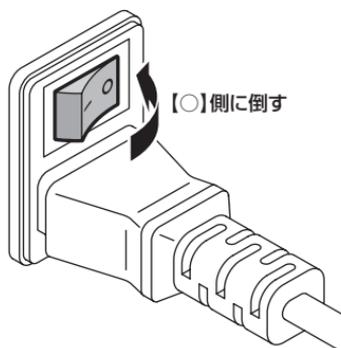
電源オン・オフ方法

電源スイッチはシーソー式で、【-】側に倒すと電源オン、【○】側に倒すと電源オフになります。

電源オン



電源オフ



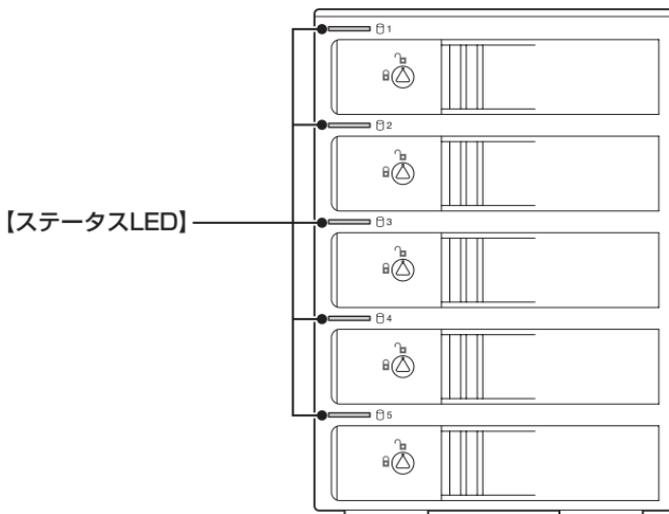
※電源オン→電源オフを行うときは、電源をオフにしたあと5秒程度待ってから電源をオンにしてください。



データアクセス中の電源オン/オフは絶対におやめください。
データの破損のみならず、HDDそのものが破損するおそれがあります。
また、本製品の取り外し方法についてはP.44【ハードウェアの取り外しについて】を
ご参照ください。

ステータスLEDについて

本製品のステータスLEDは次のような動作を示します。



本体の動作	ステータスLEDの状態
HDD未挿入	HDDを挿入していない場合、LEDは消灯します。
HDD挿入	挿入したスロットのLEDが青色に点灯します。
PC未接続時(HDD挿入時)	HDDを挿入したスロットのLEDが青色に点灯します。
Clear RAID設定時HDDアクセス	アクセスしているスロットのLEDがピンク色に点滅します。
RAID 0,1,3,5,10設定時HDDアクセス	HDDが挿入されているスロットすべてのLEDがピンク色に点滅します。
コンバイン時HDDアクセス	アクセスしているスロットのLEDがピンク色に点滅します。
HDDエラー	エラーが発生したスロットのLEDが消灯します。
RAIDリビルド時(P.43)	HDDを交換したスロットのLEDが青⇄ピンクに点滅し、その他のスロットのLEDがピンク色に点滅します。

RAIDモードの設定方法

RAIDモードを設定する際は、PCとの接続ケーブルを取り外した状態で行ってください。

1. HDDを接続する

HDDを接続します。→HDDの組み込み方法(P.19)

※RAID 1に設定する場合はHDDを2台だけ接続します。



注意

RAIDを構築するとHDDの内容はすべて利用できなくなります。
必要なデータはあらかじめバックアップをしておいてください。

2. Clear RAID状態にする

※他のRAIDモードで利用していたHDDを別のRAIDモードに変更する場合は、必ず**“HDDを本製品に接続したまま”** Clear RAIDモードに変更してください。

HDDに書き込まれているRAID情報の削除を行います。



注意

RAID情報の削除を行うため他のRAIDモードで利用していたHDDは、Clear RAIDモードにした段階でHDDの内容が改変されます。
必要なデータはあらかじめバックアップをしておいてください。

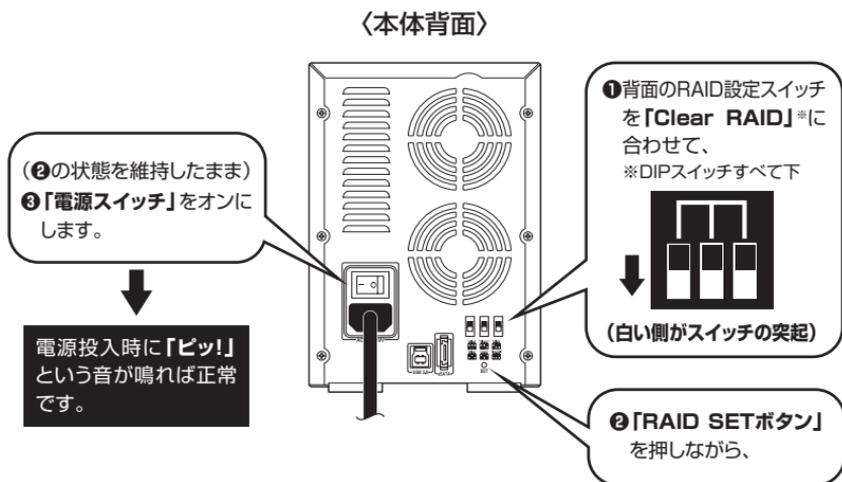
■操作手順

①本体背面のRAID設定スイッチをClear RAIDに合わせて、

②RAID SETボタンを押しながら、

③電源を入れます。

電源投入時に「ピッ!」という音が鳴れば正常です。



※Clear RAIDモードで使用する場合、ここで設定は終了です。

→Clear RAID(P.41)

④電源を入れてしばらく待ち(3分程度)、次はモード設定をするために電源を切ります。

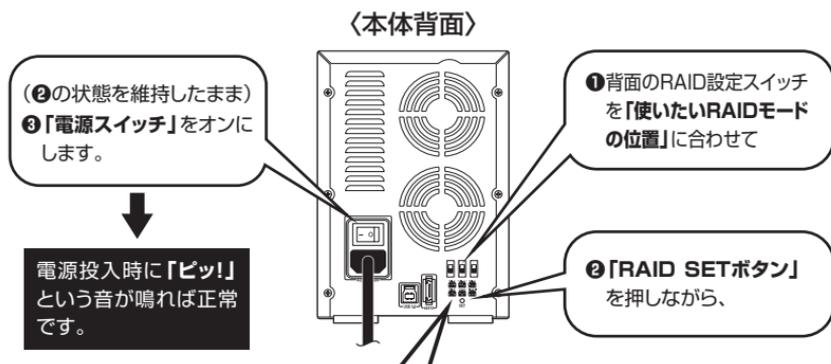
RAIDモードの設定方法

3. モードを変更する

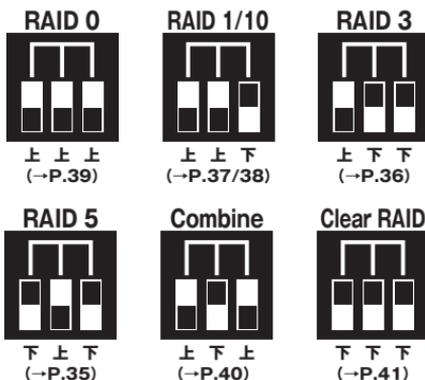
■操作手順

- ①本体背面のRAID設定スイッチをりたいモードに合わせて
- ②RAID SETボタンを押しながら、
- ③電源を入れます。

電源投入時に「ピッ!」という音が鳴れば正常です。



図の白い側がスイッチの突起を表します



※RAID 1/10を選択した場合は、HDDが2台だけ接続されている場合にRAID 1、HDDが4台接続されている場合にRAID 10が設定されます。

HDDが5台接続されている場合、5台目は認識されません。

④完了したらPCと接続します。

PCのユーティリティ（Windowsの場合：ディスクの管理、Macの場合：ディスクユーティリティ）を開いて、設定通りの容量で認識されているかを確認してください。

RAIDモードの説明

RAID構築時のHDDの容量について

※RAIDを構築する場合は同じ仕様のものご用意ください。

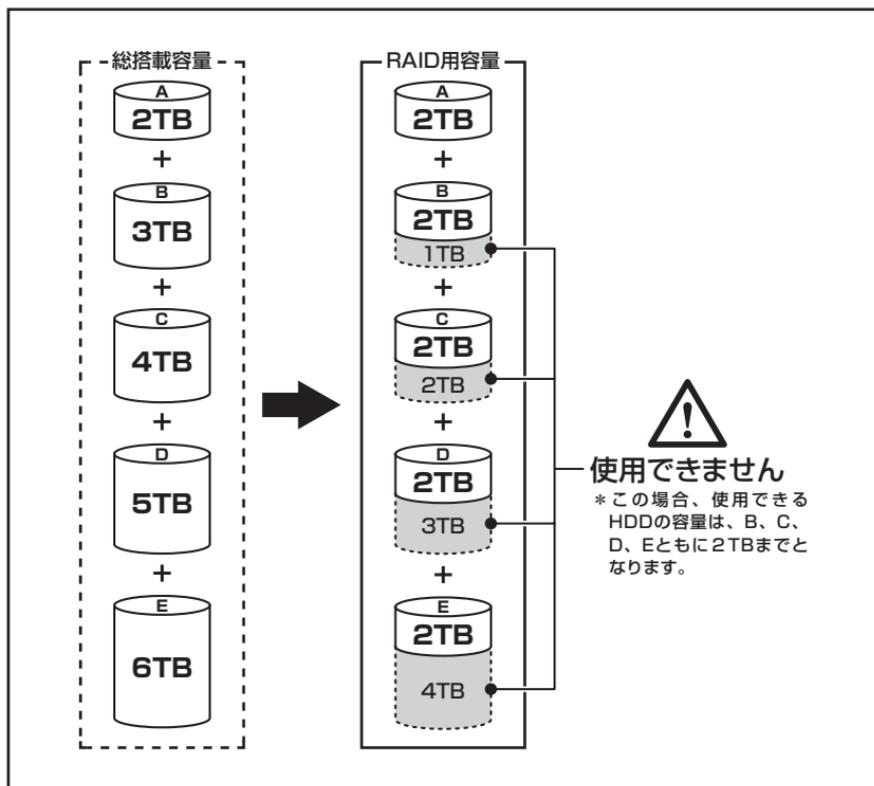
※RAIDやRAID 0を構築する際の注意

RAIDを構築する場合、すべてのHDDの容量から均等に容量が使われます。

異なる容量のHDDでRAIDを構築した場合、利用できる容量はもっとも小さいHDDを基準に計算されます。

～RAID構築時のHDD容量の一例～

- 2TB、3TB、4TB、5TB、6TBの5つのディスクを用いた場合、最小容量の2TBを基準にしてRAIDが構築されます。



RAID 5(パリティつきストライプモード)

- 複数のHDDに分散読み書き+データパリティでデータ保護を行います。
- HDDを並列で動作させるため、高速な読み込みや書き込みが可能になります。
- それぞれのHDDにパリティと呼ばれる領域を確保し、そこにデータパリティを置くことでRAIDメンバのHDDのどれか1台が故障してもデータが読み込めるようになります。

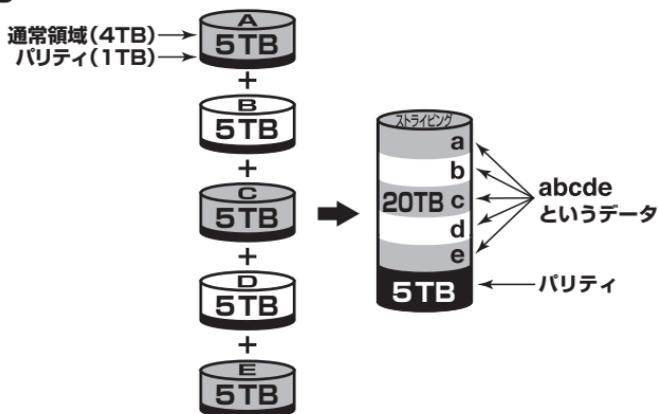


注意

構成したRAIDメンバのHDDの1台がパリティとして使用されるため、全体の容量からHDD1台分を差し引いた容量が利用可能な容量となります。

※この構成ではHDDが3台以上必要です。

～RAID 5～



5TBのHDDを5台使用すると20TBのボリュームとして認識される。
各HDDからパリティ領域を均等に使用する。



注意

RAIDはデータの安全性を確保するための機能ですが、100%のデータ保証をするものではありません。

万が一(落雷、火災等の物理的損害、誤操作やウィルス等によるデータの改ざん、消去)に備え、重要なデータは別媒体へのバックアップをおすすめします。

RAIDモードの説明

RAID 3(パリティつきストライプモード)

- RAID 5と同じように分散読み書き+パリティの構成ですが、RAID 3ではパリティを特定のHDDにのみ書き込みます。
常にパリティのHDDにアクセスが発生しますので、パリティHDDの速度がボトルネックになりうる可能性があります。
- 通常、RAID 5が利用可能な環境では使いません。

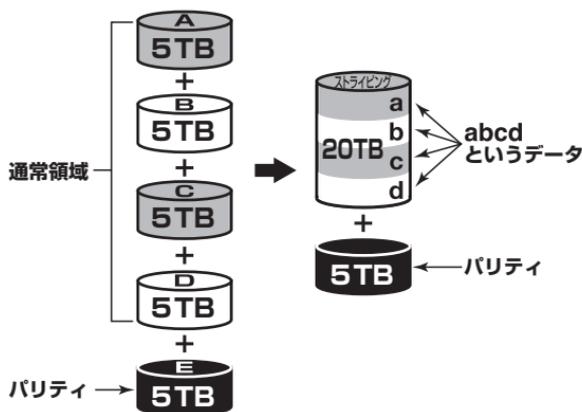


注意

構成したRAIDメンバのHDDの1台がパリティとして使用されるため、全体の容量からHDD1台分を差し引いた容量が利用可能な容量となります。

※この構成ではHDDが3台以上必要です。

~RAID 3~



5TBのHDDを5台使用すると20TBのボリュームとして認識される。
各HDDからパリティ領域を均等に使用する。



注意

RAIDはデータの安全性を確保するための機能ですが、100%のデータ保証をするものではありません。

万が一(落雷、火災等の物理的損害、誤操作やウイルス等によるデータの改ざん、消去)に備え、重要なデータは別媒体へのバックアップをおすすめします。

RAID 1 (ミラーリングモード)

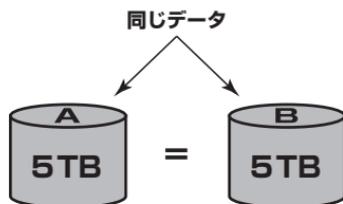
- 2台のHDDに同じデータを書き込んでデータの安全性を確保します。
同じ内容を2台のHDDに書き込むため、HDDが1台壊れてもデータが損なわれません。



注意

2台のディスクに同じ内容を書き込むため、利用可能な容量は1台分になります。
※この構成ではHDDが2台必要です。

～RAID 1～



5TBのHDDを2台使用すると5TBのHDD1台のボリュームとして認識される。



注意

RAIDはデータの安全性を確保するための機能ですが、100%のデータ保証をするものではありません。

万が一（落雷、火災等の物理的損害、誤操作やウィルス等によるデータの改ざん、消去）に備え、重要なデータは別媒体へのバックアップをおすすめします。

RAIDモードの説明

RAID 10(ミラードストライピングモード)

- 2台のHDDでミラーリングを構築し、それをストライピングします。
- 2台のHDDをRAID 1(ミラーリング)して、それをさらにRAID 0(ストライピング)で高速化します。



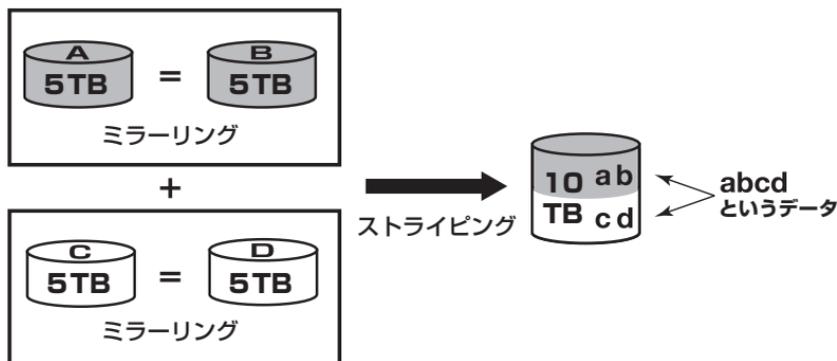
注意

2台ずつペアになったHDDに同じ内容を書き込むため、利用可能な容量は全体の容量の半分になります。

※この構成ではHDDが4台必要です。

※5台目は認識されません。

~RAID 10~



5TBのHDDを4台使用すると10TBのHDD1台のボリュームとして認識される。



注意

RAIDはデータの安全性を確保するための機能ですが、100%のデータ保証をするものではありません。

万が一(落雷、火災等の物理的損害、誤操作やウィルス等によるデータの改ざん、消去)に備え、重要なデータは別媒体へのバックアップをおすすめします。

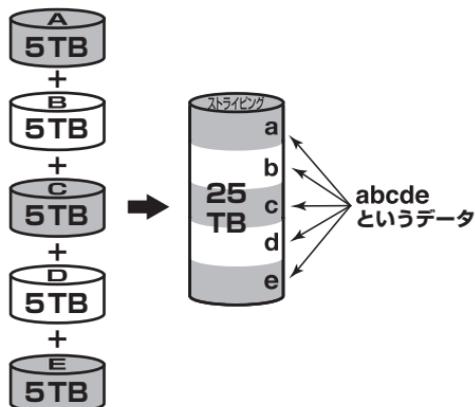
RAIDではない他のモードの説明

RAID 0(ストライピングモード)

- 複数のHDDに分散して読み込み/書き込みを行います。
- HDDを並列で動作させるため、高速な読み込みや書き込みが可能になります。
- RAID 5やRAID 3と違いパリティ領域がないため、どれか1つのHDDが故障するとデータがすべて失われます。パリティ領域を必要としない分、すべてのHDD容量が利用可能です。

※この構成ではHDDが2台以上必要です。

～RAID 0～



★センちゃんのRAID豆知識★

セ： どうしてRAID 0(ストライピング)はRAIDじゃないのにRAIDという名前がついているの？

→RAIDの略称のいちばん最初Redundant(余分、冗長)という言葉が表すとおり、RAIDは余分な容量を設けて信頼性を上げ、ひいてはデータの消失トラブルを防ぐためのものです。

こうした機能のないRAID 0(ストライピング)がRAIDと呼ばれるのは、RAID 3以降に使われている分散書き込み技術だからであるようです。また、RAID 0は“ゼロ”なのでRAIDに満たない、という解釈もあるようです。

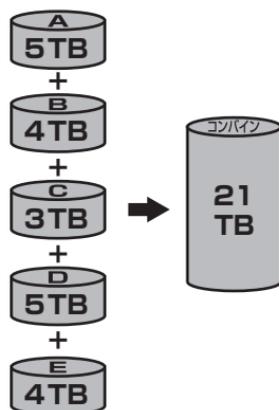


RAIDではない他のモードの説明

Combine(コンバインモード)

- 複数のHDDを連結して使用します。
- 各HDDをつないで1つのHDDに見せかけます。この構成に限り、異なる容量のHDDで構築してもHDDの容量が無駄になりません。
- RAID 0同様、パリティやミラーリング等のデータ保護処理は行われませんので、どれか1つのHDDが故障すると、データがすべて失われます。
※この構成ではHDDが2台以上必要です。

～Combine～

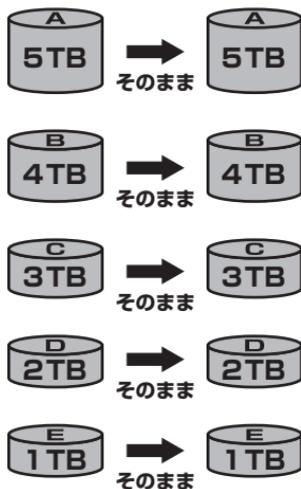


Clear RAID (個別認識モード)

- HDDを別々に認識させます。

※eSATA接続で複数のHDDを認識させる場合、eSATAホストがポートマルチプライヤーに対応している必要があります。

～Clear RAID～

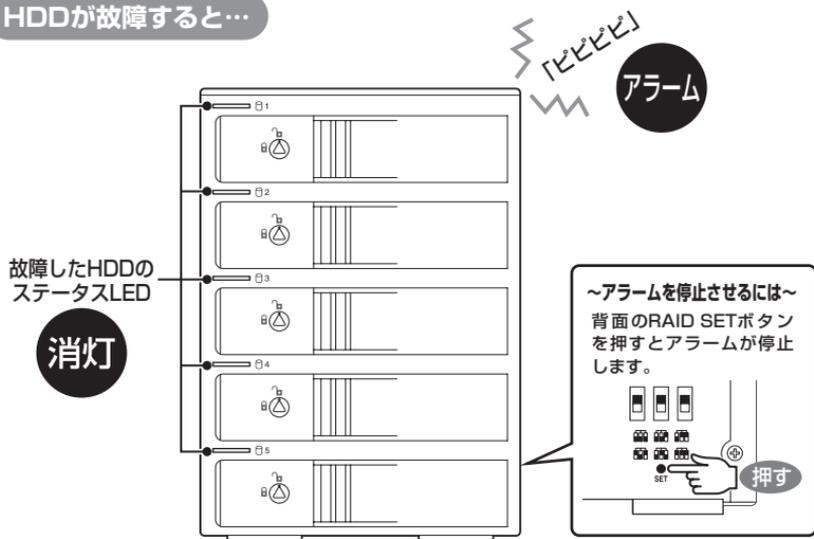


ディスクの故障とリビルド

ディスクの故障

HDDの故障時、故障したHDDのステータスLEDが消灯し、「ピピピピ」というアラームが鳴ります。背面のRAID SETボタンを押すと、アラームが停止します。設定したモードに応じて故障したディスクの除去、交換を行ってください。

HDDが故障すると…



■RAID 1、RAID 3、RAID 5、RAID 10の場合

故障したHDDが1台までであればデータは保持されています。故障したHDDを交換してリビルドを行ってください。→リビルド方法(P.43)
HDDを交換するまで本製品起動時にアラームが鳴り続けます。

■RAID 0、Combineの場合

残念ながら、HDDが1台故障しただけでデータが失われます。故障したHDDを交換するか取り除いて、“Clear RAID”の手順から設定をやりなおしてください。→Clear RAID状態にする(P.41)
Clear RAID状態になるまで本製品起動時にアラームが鳴り続けます。

■Clear RAIDの場合

故障したHDDの内容は失われますが、他のHDDには影響ありません。故障したHDDを取り除くか交換してください。
交換したHDDはフォーマット後、使用可能になります。

リビルド方法

電源を切って故障したHDDを交換し、再度電源を投入すると自動的にリビルドが開始されます。

※交換するHDDは必ず故障したHDDと同じか、より大きい容量のものをご用意ください。

- リビルド中は交換したスロットのステータスLEDが青⇄ピンクに点滅し、他のスロットのステータスLEDがピンク色に点滅します。
- リビルドが終了すると、すべてのステータスLEDは青色の点灯に戻ります。

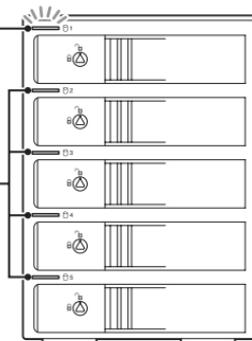
リビルド中

交換したスロットの
ステータスLED

青⇄ピンク
点滅

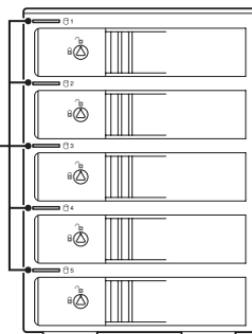
他のスロットの
ステータスLED

ピンク色点滅



リビルド終了

全ステータスLED
青色点灯



一度リビルドが開始されると、PCと接続していなくてもリビルドが行われます。

※リビルドの前、またはリビルドの途中でRAIDモードの変更を行わないでください。リビルドが正常に開始・再開されません。

※リビルド中に電源を切っても、電源再投入後にリビルドが再開されますが、できるだけリビルド終了まで電源を切らずにおいでください。

※リビルド中はHDDの交換をしないでください。

■リビルドする際のHDD交換位置に関して

HDDを交換する際は、必ず取り外した位置に交換するHDDを接続してください。

例) 1～3段目でRAIDを構成している場合、1～3段目の代わりに空いている4段目に新たなHDDを接続してもリビルドは開始されません。

●リビルドの所要時間

リビルドの所要時間は構築しているRAIDの種類やHDD容量により異なります。

1 TBのHDDでRAID 5を構築している場合は、リビルドの完了までに約5時間かかります(弊社テスト環境での計測結果)。

ハードウェアの取り外しについて

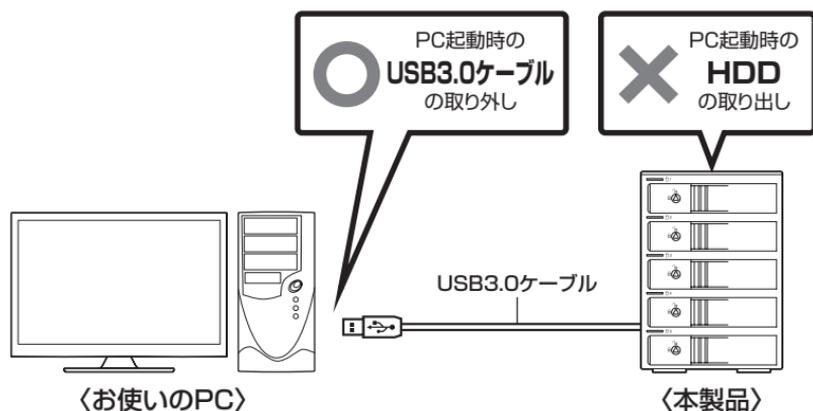
本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、PCの電源を切った状態で行ってください。

※この項で説明する「ハードウェアの取り外し」とは、本製品とPCの接続を解除するという意味です。

RAID障害時のHDDの取り外し及び交換についてはP.42【ディスクの故障とリビルド】の項をご参照ください。

また、本製品はホットスワップには対応しておりませんので、HDDの取り付け、取り外しをする際は必ず本製品の電源を切った状態で行うようにしてください。



1：本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下のように表示されます。

- Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7 … USB to ATA/ATAPI Bridge
- Windows Vista …………… USB大容量記憶装置

2：取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
電源を切ってケーブルを取り外してください。

※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照のうえ、作業を行ってください。

【ハードウェアの取り外し】の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず【ハードウェアの取り外し】の処理を行ってください。

トラブルシューティング

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われる場合は、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

以下の点をご確認ください。

- 接続ケーブル、ACケーブルが正しく接続されているか
- eSATA I/F接続の場合、正しくドライバがインストールされて動作しているか
- eSATA I/Fの仕様はポートマルチプライヤーに対応しているか

■USB3.0接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう

USB3.0インターフェイス側のドライババージョンが古いと発生する場合があります。

ご使用のUSB3.0インターフェイスのドライバで、新しいドライバがリリースされていないかご確認ください。

また、設置場所やPC本体との距離などによっては、ノイズ等の影響を受ける場合がございます。

設置位置を変えてみての動作もご確認ください。

■USB接続時にUSB2.0として認識してしまう

本製品の電源をオンにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

本製品の電源をオフの状態でご各ケーブルを接続し、そのあとメイン電源スイッチをオンにしてください。

■eSATA接続時、Windowsが起動後に接続すると認識されない

eSATAのホストアダプタの仕様やモード設定によっては、PC起動時に本製品を接続しておかないと認識できない場合があります。お使いのeSATAホストアダプタの仕様をご確認ください。

また、マザーボードのeSATAポートを使用している場合、BIOS上でSATAの動作モードがIDE互換モードになっていると、Windows起動後の接続ができません。

この場合は(AHCIモード)に変更することで改善する可能性があります。

※システムの起動HDDと本製品が同じSATAホストに接続されている状態でモード変更を行うと、Windowsが起動しなくなる場合がありますのでご注意ください。

■eSATA接続だと認識するが、USB接続だとマイコンピュータにアイコンが表示されない(Windows)

ダイナミックディスク形式でHDDを初期化していないかご確認ください。
USB接続の場合はスタンダード形式のみ使用可能です。

■WindowsでeSATA接続時、ハードウェアの取り外しに本製品のHDDが表示されない

eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、接続されたeSATA I/Fによって可能かどうか異なります。

詳しくは、お使いのeSATA I/Fの製造元にお問い合わせください。

また、eSATA HDDの動作中の取り外しは、設定によってはデータの破損等につながる場合がありますので、弊社ではおすすめておりません。

■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない

本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

トラブルシューティング

■30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しない(Windows)

HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。

フォーマットを短時間で完了させたい場合は「クイックフォーマット」を選択してください。

詳しくは、巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

■2TBを超えるボリュームを初期化しようとする、2TBで分割されてしまう(Windows)

MBR形式の場合、使用できる最大容量が2TBとなります。

GPT形式にて初期化することで、2TB以上の容量が使用可能となります。

■同一PCに複数台のHDDを接続して起動した際、本体に認識される順番がHDDによって異なる(Clear RAID時)

本製品の場合、HDDが始動した順に認識されます。

そのため、初期動作に時間がかかるHDDがあった場合、順番が入れ替わることがあります。

HDDに割り振られるドライブ文字が異なる場合、ディスクの管理にて、HDDに個別のドライブ文字を手動で割り当てることでドライブ文字を固定することができます(Windows)。

ただし、ドライブ文字の重複にはご注意ください。

■「CRIB535EU3V2」からOSが起動しない

本製品はUSB接続時のOS起動には対応していません。

eSATA接続時の起動に関しては、eSATAホストインターフェイスの取扱説明書をご確認ください。

■HDDの回転音が安定せず、認識しない

HDDの台数に比例して消費電力も大きくなりますので、HDDの台数を減らして症状が変わるかご確認ください。

また、コンセントがタコ足配線になっていると、電圧が低下してHDDの動作に支障が出る場合があります。コンセント周りの配線をご確認ください。

■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にHDDのアイコンが表示されない

新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。

【領域の確保とフォーマット】または【Mac OSでの使用方法】【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】を参照して初期化の作業を行ってください。

- Windowsでお使いの場合→巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- Macでお使いの場合→巻末付録10【Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6～10.10まで)】または、巻末付録14【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】をご確認ください。

■RAIDの設定を変更しても設定が反映されない

RAIDの設定を変更する際は、一度Clear RAIDモードにてRAIDの情報を削除する必要があります。

RAIDの設定を変更する際は、万々に備えてデータのバックアップを行ってください。

■Clear RAID時にHDDが1台しか認識されない

eSATA I/Fがポートマルチプライヤーに対応していない場合、HDDが1台しか認識されません。

お使いのeSATA I/Fの仕様をご確認ください。

トラブルシューティング

■故障したHDDを交換してもリビルドが開始されない

HDDの容量にご注意ください。HDDの容量が交換したHDDより少ない場合、リビルドを行うことができません。

また、以前RAIDで利用していたHDDは中のRAID情報が残ったままの場合があります。

例：本製品を2台用意して、

RAID 5a：HDD 1、HDD 2、HDD 3、HDD 4

RAID 5b：HDD 5、HDD 6、HDD 7、HDD 8

このような2台のRAID 5を運用していたとします。

RAID 5bは利用しなくなったのでそのまま予備に回したあと、RAID 5aのHDD 4が故障したので、使っていない予備のRAID 5bからHDDを1台抜き出して交換したとします。

RAID 5a：HDD 1、HDD 2、HDD 3、HDD 5

この場合リビルドが始まりません。

HDD 5のRAID情報がそのまま残った状態ですので、HDD 5をRAID 5bのRAIDメンバだと認識し、リビルドを行わないのです。

この場合は、RAID 5bの方であらかじめClear RAIDに設定してRAID情報の削除を行っておく必要があります。

■Windowsのシステムイメージの復元やバックアップソフト等のメディアから起動した際に、USB3.0で接続したCRIB535EU3V2が認識しない

バックアップソフト等は最低限の機器で構成されていることが多く、USB3.0ホストインターフェイスのドライバが含まれない場合もあるようです。

このような通常のOS起動とは異なる使用環境は、サポート対象外となります。

■2TBのHDDを接続したのに容量が1.8TB程度になってしまう

計算方法に違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのHDDドライブメーカーは、公称容量を

• **1MB = 1,000,000 バイト**

で計算した値で示しています。

それに対し、一般的には、

• **1KB = 1024 バイト**

• **1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**

• **1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**

• **1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト**

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみると、

• **$2,000,000,000,000 \div 1,099,511,627,776 = \text{約 } 1.8\text{TB}$**

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(HDDドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

■S.M.A.R.T情報が表示されない

S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。

弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

FAQ(よくあるご質問とその回答)

Q. 使用できるHDDの最大容量は？

- A. 本製品をPCに接続して使用する場合、最大で8TB(テラバイト)までとなります。

Q. HDDは1台のみでも使用可能ですか？

- A. 可能です。

Q. どんな形式のHDDが接続可能ですか？

- A. 3.5インチサイズのシリアルATA(SATA)HDDが接続可能です。
また、別売の「裸族のインナー」を使用した場合、2.5インチHDD/SSD*もご使用いただけます。※5V駆動のものに限ります。
パラレルATA(IDE)やSAS、SCSI HDDは接続できません。

Q. 他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

- A. Clear RAIDであれば基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用に出来ない場合があります。

Q. RAIDで使用时、あとからHDDを追加して既存のRAIDボリュームの容量を拡張できますか？

- A. データを保持したままではできません。
RAID構成を変更すると初期化が必要となるため、データはすべて失われてしまいます。

Q. アクセスをしていない際にHDDの回転を止めるようなスリープ機能はありますか？

- A. 本製品にスリープ機能は搭載されておりません。

Q. Windows ServerやLinuxで動作しますか？

- A. サポート対象外となります。
サポート対象外のOSに関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。
ドライバの提供や操作方法等をご案内できかねます。

Q. 着脱可能回数は何回ですか？

- A. 本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、詳しい着脱可能回数はHDDの製造メーカーにお問い合わせください。

**Q. SATA3.0(6Gbps)のHDDは使用可能ですか？
また、SATA3.0の速度は出ますか？**

- A. SATA3.0(6Gbps)のHDDを使用することは可能ですが、ホスト側の転送速度上限がSATA II (3Gbps)のため、転送速度の上限はSATA II (3Gbps)までになります。
あらかじめご了承ください。

Q. 横置きでの使用は可能ですか？

- A. 本製品は「縦置き専用」です。
横置きや逆向き、フロントドアを下にしたの設置、使用はできません。

**Q. HDDにアクセスしていないのに、ステータスLEDが点滅します。
故障ですか？**

- A. ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のHDDにアクセスする場合があります。

RAID Managerについて

弊社ウェブサイトからダウンロードできるRAID Managerを使うことで、さらに細かい設定や状態確認を行えます。

■対応OS：Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista

※Macについて

RAID ManagerはWindows専用のユーティリティのため、Macではご使用になれません。ただし、Windowsパソコンで設定を行ってからMacに接続すれば、その設定のまま、ご使用になれます。



■このツールでできること

- 各種RAIDの設定/削除
→RAID 1ボリュームを2つ作成する等の、背面ディップスイッチでできないRAIDの作成が可能です。
- RAID情報の削除
→既存のボリューム情報を消去してClear RAIDの状態に戻します。
- RAIDイベントの表示
→HDDの故障等、警告が発生した日時を確認できます。
- CLONEモードの利用
→接続されているHDDのすべてに同じ内容を書き込むモードが設定可能です。

●RAID Managerと取扱説明書は、弊社ウェブサイトからダウンロードを行ってください。

【URL】<http://www.century.co.jp/support/download/raid-manager.html>

新しいHDDをお使いの場合は こちらをお読みください。

- 領域の確保とフォーマット…………… 巻末付録2
 - Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vistaの場合 …… 巻末付録2
- Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6～10.10まで) …… 巻末付録10
- Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法 …… 巻末付録14

！ ご注意ください！

- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDD/SSDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のパソコン等でご使用になっていたHDD/SSDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD/SSD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDD/SSDを接続した場合であれば次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。



この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。

消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

■Windows 10/Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vistaの場合

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Windows 10】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows-10-format.html>



【Windows 8(8.1)】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows8-format.html>



【Windows 7】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows7-format.html>

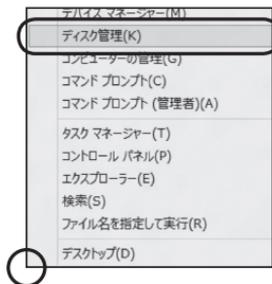


【Windows Vista】

<http://www.century.co.jp/support/faq/windowsvista.html>



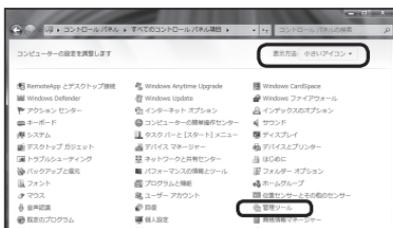
1.



Windows 10/8(8.1)

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。

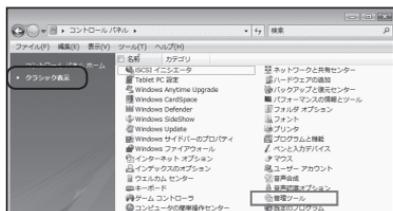
その後は手順.3にお進みください。



Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン*】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。



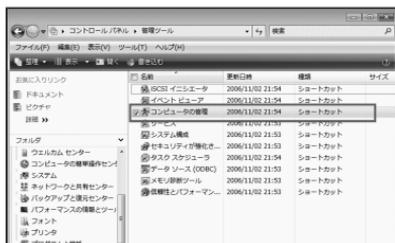
Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示*】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

領域の確保とフォーマット

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

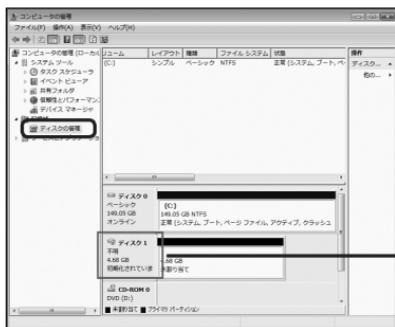
※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。

システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

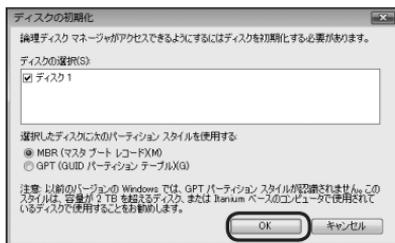
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

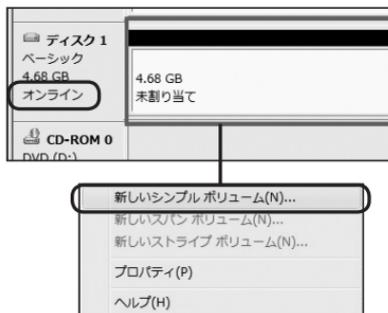
4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いがないかを確認して【OK】をクリックします。

5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

領域の確保とフォーマット

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

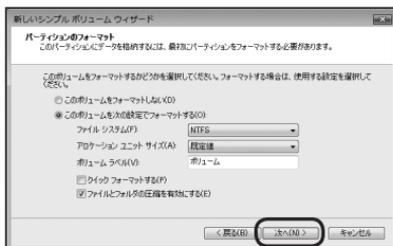
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウインドウが表示されます。

- **ファイルシステム**

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- **アロケーションユニットサイズ**

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。
特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

- **ボリュームラベル**

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- **クイックフォーマットする**

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- **ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**

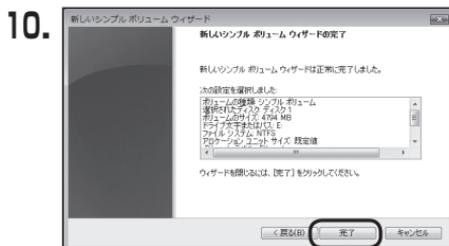
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

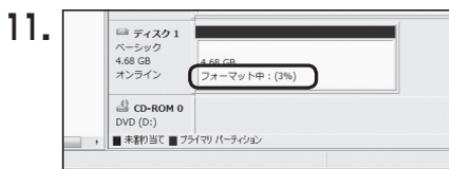
設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

領域の確保とフォーマット



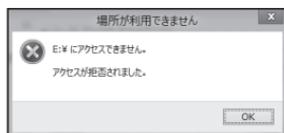
【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウインドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウインドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとする時警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)

本項では、Mac OSに新しいHDDを接続した際のフォーマット方法を説明します。

※Mac OS 10.11以降でフォーマットを行う場合は、巻末付録14【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照ください。



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDD/SSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいHDD/SSDのみを接続してください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-format.html>





1.



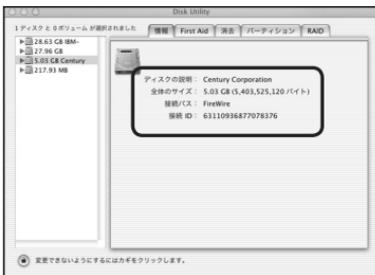
容量が一致する新しいHDD/SSD

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。

起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDD/SSDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDD/SSDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで) (つづき)

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定を変更できます。

- **ボリューム情報**：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
- **名** 前：作成するボリューム名を変更できます。
変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
- **フォーマット**：作成するボリュームのフォーマットを選択します。
Mac OS標準、Mac OS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。
通常は Mac OS標準か Mac OS拡張を選択してください。
- **サイズ**：作成するボリュームのサイズを変更できます。
- **オプション**：Mac OS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS 9で動作するドライバをインストールします。
- **分割**：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- **削除**：選択されているボリュームを削除します。
- **元に戻す**：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、
キャンセルする場合は「キャンセル」を
クリックします。

5.



フォーマットが完了すると、デスクトップ
にHDDアイコンが表示されます。

取り外しをする場合は、このアイコンを
Dockの中のごみ箱にドロップします。

Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDDがある場合は、あらかじめ取り外しを行い、新しいHDDのみを接続してください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法(OSX El Capitan[Mac OS 10.11])】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-osx-el-capitan-format.html>



1.



フォーマットされていないディスクを接続すると、メッセージが表示されますので、「初期化...」をクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。

※手動でディスクユーティリティを起動する場合は、アプリケーション>ユーティリティ>ディスクユーティリティを選択してください。

2.



ウィンドウ左側「外部」の下に接続されているディスクが表示されますので、フォーマットするディスクを選択します。

※フォーマットするディスクの容量等を確認して間違いがないか確認してください。

Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法(つづき)

3.



- ❶ ウィンドウ上部にある「消去」ボタンをクリックすると、シートダイアログが表示されますので設定を確認します。

【名前】…ディスクの名前を入力します。

【フォーマット】…通常は「OS X 拡張 (ジャーナリング)」を選択してください。

【方式】…通常は「GUIDパーティションマップ」を選択してください。

※MacとWindows両方で利用したい場合は、フォーマットを「MS-DOS(FAT)」または「exFAT」、方式は「マスターブートレコード」を選択してください。
「MS-DOS(FAT)」は2TBより大きな容量のディスクでは利用できません。
exFATはOSのバージョン(過去のバージョン等)によっては、対応していない場合があります。

- ❷ 「消去」ボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

4.



完了のシートダイアログが表示されればフォーマット完了です。

サポートのご案内

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市とよふたおきなほら十余二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしく願いいたします。

～弊社商品につきましてはのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチリーおよびセンチリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.